



少子化対策について（平成 17 年 9 月定例会）

1) 子どもを持つ家庭への経済的支援について

私は、現在の未婚化や晩婚化、また、少子化は、日本の将来に明るい夢が描けない事と、現在社会の大人の優しさが足りない事が大きな原因ではないかと思っています。

子育てにお金がかかるから産めないという意見もよく聞いており、経済的支援をもっと充実する事が必要なのではないかとも思っております。子どもを持つ家庭への経済的支援は、価値ある先行投資だと思いますし、少子化の大きな鍵を握っているのではないのでしょうか。

妊娠がわかった時点から妊娠中の健診費用も、無料にして、経済的にも安心して赤ちゃんを産みやすい環境を作って欲しいと思いますが、県のお考えをお伺い致します。

【健康福祉部長答弁】

近年、妊娠、出産等に不安を持つ親が増加していることから、本年度は、親と子の心のケアの視点を重視した健診体制の充実を図ることとし、マニュアルの見直しを行うこととしております。

2) 赤ちゃんとのふれあい体験について

周南市の鹿野小学校と鹿野中学校では「生命の大切さや、将来の人間形成に必要な父性や母性を育てること」を目的とし「赤ちゃんふれあい体験学習」に早くから取り組まれています。

このような体験が、将来「育ててくれた両親へ感謝し、自分も結婚して子どもを産みたい。」と思う心を養うようになるのではないのでしょうか。

健全に子どもを養育する基盤づくりのために、赤ちゃんとのふれあい体験は非常に有効なものだと思います。県内の学校でこのような体験学習に積極的に取り組む必要があると考えますが、教育長のお考えをお伺い致します。

【教育長答弁】

鹿野地区の赤ちゃんとのふれあい体験学習につきましては、道徳教育の研究指定を契機に、地域をあげて取り組まれてきたものであります。

今後、関係機関等と連携し、赤ちゃんとのふれあい体験を積極的に取り入れ、学校や地域の実情に応じて、赤ちゃんとふれあう体験学習ができるよう、積極的に取り組んでまいります。

3) 仕事と家庭の両立支援について

周南市の西京銀行本店には、事業所内託児施設「きららキッズパーク」があります。この託児施設は、国の補助を受けて、民家をリニューアルしたのですが、銀行から歩いて3分の所にあり、お母さんは、休憩時間に授乳ができたり、お昼ご飯を一緒に食べたり、子どもの体調が悪い時には様子を見に行くこともでき、社員の福利厚生施設として、とても喜ばれているそうです。

身近な所にある託児施設の整備は、働くお母さんにとって、一番喜ばれるものと思います。女性社員の多い職場には、ぜひ、設置して欲しいと思います。

仕事と家庭の両立に向けた企業の取り組みへの支援について、県のお考えをお伺い致します。

【商工労働部長答弁】

勤労女性相談員による事業所訪問等により、企業における気運醸成と取組を促進してきたところであります。

本年度、新たに事業主団体等が開催する研修会等への専門家を派遣する制度を創設し、取り組みを強化したところであります。

県といたしましては、引き続き、山口労働局等関係機関との連携を強化しながら、企業における子育てしやすい職場環境づくりの促進に向けて、積極的に取り組んでまいります。